

3. 各取組の概要

①取組1:地権者調査

具体的な取組

1. 地権者リストの作成 (固定資産税納付者ベース)

- 26名の地権者が存在、うち1件について追跡不能(死去、親類なし)

2. 地権者への連絡担当者の選定

- 裳掛地区コミュニティ協議会名で15集落の行政委員を招集
- 調査趣旨の説明および地権者への連絡、打診を依頼

3. 地権者への連絡、土地の利用についての意向確認

- 地権者が所属している/していた4つの集落(新町、田辺里、上町、浜)の行政委員を中心に、裳掛地区コミュニティ協議会の役員が担って地権者への連絡を実施(訪問および電話)

4. その後の取組についての協議

- 対象空き地の整地について、確認事項を整理

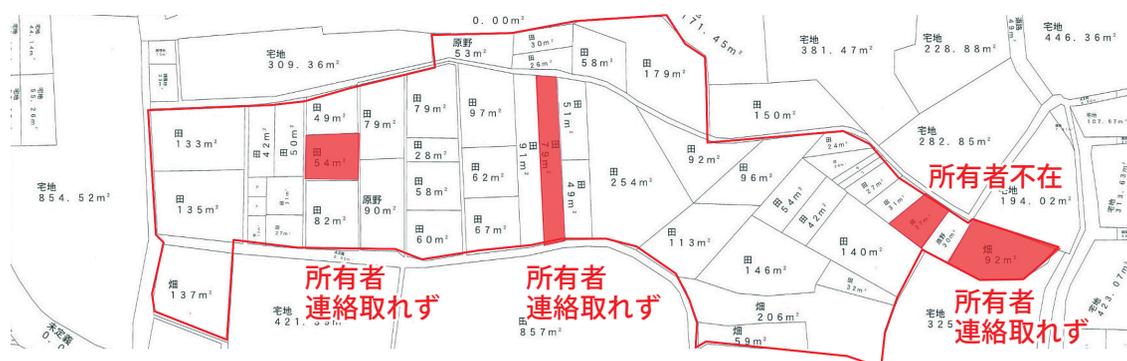
問題となったこと、苦労したこと等

4筆につき、承諾を得ていない状態で草刈りを行うことにした

- 活用については承諾を得るとして、いずれにせよ境界確定が必要
- 北側区画に見られる、東西方向の水路や畔を探す必要があった

工夫した点、特徴等

工夫ではないが、整地や活用について承諾を得る段階でも草刈りが必要との判断を集落で下したことで、事業を進めることができた



3. 各取組の概要

②取組2:対象空き地の整地

具体的な取組

1. 草刈り

- 10名強×2日間の作業で、対象農地の草刈りを行なった
- 刈払機によって大まかに雑草を倒した後、自走式のハンマーモアで破碎した

2. 水路復元

- 草刈りと合わせ、水路の探索と復元を試みた
- 小型重機でU字溝等を探索し、人力で溝の泥等を撤去

3. 対象空き地の水はけ、乾燥状態の観察

- 数週間から1ヶ月強の期間を空け、追加の草刈り作業等を行なった

4. 盛り土調査

- 乾地の確保が難しかったため、盛り土による乾地化を試みた
- 対象空き地の北側区画について、30cm～50cm程度の盛り土をし、引き続き乾燥状態の観察を行った

1. 草刈り

- 10名強×2日間×2回の作業で、対象農地の草刈りを実施



3.各取組の概要

②取組 2: 対象空き地の整地



2. 水路復元

- 地籍図にある水路もしくは畔の探索



3.各取組の概要

②取組 2: 対象空き地の整地



3.各取組の概要

②取組 2: 対象空き地の整地

3. 対象空き地の水はけ、乾燥状態の観察

- 1回目から1ヶ月おいて経過を観察し、再度水路の掃除や草刈り作業を行った



3.各取組の概要

②取組 2: 対象空き地の整地

4. 盛り土調査

- 対象空き地の北側区画について、30cm～50cm程度の盛り土を実施



3. 各取組の概要

②取組2:対象空き地の整地

問題となったこと、苦労したこと等

1. 草刈り

- 膝下まで脚が沈むほど沼地化した窪みがあった
- 根生姜の地下茎によって地面が隆起した場所があった
- 前項等により、自走式のハンマーモアによる作業は困難だったため、最初は刈払機によって大まかに雑草を倒した後にモアで破碎するなど二度手間が発生した

2. 水路復元

- 地籍図を参考に、水路や畔の位置確認および復元を試みたが、東西方向の水路等はほぼ完全に消失しており、外周の比較的容易に発見できた水路についても泥の除去にかなり手間がかかった
- 南北方向のみと考えていた対象地の傾斜が、東西方向にも傾斜があることがわかり、復元すべき水路を確定することが困難だった

3. 対象空き地の水はけ、乾燥状態の観察

- 乾地部分の確保や、境界確定に必要な水路や畔などが十分にできなかった

乾地部分の確保や、境界確定に必要な水路や畔などが十分にできなかった

- 水路が発見でき、復元できたもの
- 水路跡は発見できたが、復元できなかったもの
- 地籍にはあるが、発見できなかった水路もしくは畔

